

久谷地区は、松山市の南部に位置し、山や田畑に囲まれる緑豊かな田園地帯です。また、久谷地区の魅力は自然だけに限らず、文化財などの史跡伝説の町でもあります。平成28年には「久谷地区まちづくり協議会」を発足し、「久谷は一つ！」を合言葉に久谷地区の活性化を目指し、地域の文化的行事や歴史的文化遺産の継承を誇りにして、高齢者や子どもたちが安全で安心して暮らせる「癒しの里」づくりそして、隣人愛に満ちた笑顔あふれる地域づくりを行っています。

さかもとや
坂本屋

みさかとうげ

明治末～対象初期建築の遍路宿。三坂峠のふもとで、昭和初期にかけて「休息宿泊の旅人」で賑わっていました。2004年に修復され、3～11月の土・日には、地元の有志の方がお接待を行っています。

土間・囲炉裏・かまどなどのある癒しの空間で
一休みすることができます。

ぜひ立ち寄ってみて手厚いおもてなしを体験してください！

じょうるりじ
浄瑠璃寺

じょうるりじ
浄瑠璃寺は、四国八十八ヶ所霊場の第 46 番札所です。
いおうざん ゆうじゆいん やくしによらい
山号は医王山、院号は養珠院と称し、本尊は薬師如来です。

708 年に僧行基が建立し、四国霊場の一寺としました。

歴史的な背景や自然の美しさ、そして多様なご利益を求める参拝者
にとって、魅力的な霊場となっています。

だいこくざ 大黒座

かつて大正時代は木造二階建ての土蔵で、酒造所だった^{だいこくざ}大黒座。

戦後、芝居や演芸など大衆文化の拠点でしたが、

1963年に閉鎖されました。

現在では学生の政策論文などを機に、2006年から農村歌舞伎、

寄席、コンサートなどが地域の人々の運営で行われ、

賑わいを取り戻しています。

やさかじ 八坂寺

やさかじ 八坂寺は、四国八十八ヶ所霊場の第47番札所で山号はくまのざん熊野山、
みょうけんいん院号は妙見院と称し、あみだによらい本尊は阿弥陀如来です。

寺は701年にもんむ文武天皇により創建され、

寺院を建てる際に八ヶ所の坂道を切り開いたことから「八坂寺」と名づけられました。八坂寺は長い歴史と深い信仰を持つ寺院であり、多くの参拝者が訪れる霊場となっています。